

杏林メディカルフォーラムとは

杏林大学医学部付属病院 看護部長 根本康子

平成 24 年度(2012 年度)から毎年開催されている「杏林メディカルフォーラム」は、それまで看護部のみで行ってきた「看護研究発表会」が前身となっています。「看護研究発表会」では通常の研究発表に加え、学内の他職種の方を講師にお招きしワークショップも行っていました。

このワークショップの経験から、もっと他の職種の方々と直接交流し、情報の交換、共有する機会を持っていないものかと考え、さまざまな職種、部門に提案したところ、大変ありがたいことにご快諾いただくことができました。

そこで下記を目的に、平成 24 年度に現在の他職種参加型の形式にリニューアルし、名称も「杏林メディカルフォーラム」と変更いたしました。

- ①臨床実践における課題の明確化と解決への取り組みの推進
- ②各部署の取り組みの共有と相互評価
- ③知識の向上
- ④部署・職種間の連携強化等による医療・看護の質向上

現在の発表者の所属範囲は、医師を除く病院職員ならびに図書館職員となっています。すなわち看護部はもちろん、臨床検査部、栄養部、放射線部、薬剤部、リハビリ室、患者支援センター、病院事務職員、図書館職員などから、さまざまな事案、提案、報告がなされています。

「杏林メディカルフォーラム」と名称を変更してから、今回で 13 回を迎えましたが、自分達現場の実践の見直しのみでなく、普段あまり交流のない職種の状況を知ることで、お互いに解決するための努力、工夫がなされ、連携が強化されてきたように感じます。年 1 回の開催ではありますが、今後も「杏林メディカルフォーラム」を通して、あらゆる医療従事者が自分たちの仕事に問題意識を持ち、他者との連携を強化しながら医療・看護の質を向上させていくことを多いに期待しております。

※杏林医学会事務局より

2023 年度より、杏林医学会雑誌に「杏林メディカルフォーラム」の目次を掲載させていただくこととなりました。目次のみではありますが、医師とは少し異なる視点から、職員らの医療に対する真摯な姿を少しでも感じていただけますと大変幸いです。